

## H30 後援会情報交換会質疑状況（人間福祉学部）

- 1 開催日時 平成30年11月10日（土） 14:00～
- 2 開催場所 山梨県立大学飯田キャンパス 大会議室
- 3 出席者 大学側 藤谷福祉コミュニティ学科長、村木人間形成学科長  
保護者 10組13名の参加者  
後援会 土屋会長、事務局（塩島）

### 質問事項

- Q1 福祉の勉強をする中で、どんな仕事に就くことが学生本人にとって幸せなのか、先輩の就職状況はどのようなのかを聞きたい。
- A1 比較的公務員になる学生が多い。一部は行政職の場合もあるが、多くは県市町村の福祉職への就職となっている。  
医療機関、社会福祉協議会、福祉施設などのソーシャルワーカーとして活躍している卒業生もいる。  
適性、関心をふまえ、実際の仕事について、実習を通して理解したうえで、就職先を考えて欲しい。
- Q2 （就職する場合）幼稚園と保育園の違い、公務員と民間の違いはどのようなになっているのか。
- A2 認定子ども園などは、保育士資格と幼稚園教諭免許の両方をもっていないと採用してくれない場合が多い。  
公務員の場合は、保育士としての採用が多いが、人事異動で現場以外の職場で働く場合もある。毎年状況が変わってくるので、常にアンテナを高くすることが必要。  
一般の事務職などと違い、実習をさせていただく中で就職先を選ぶこともできる。
- Q3 山梨県の待機児童は、どのような状況か。保育士は足りないのか、あまっているのか。
- A3 東京などに比べたら山梨県内の待機児童数は少ないが、必ずしも入所させたい保育所に全てが入れるわけではない。保育現場では保育士の需要は高い。
- Q4 学食は、学生でなくても利用できるのか。
- A4 一般にも開放しているので、是非利用して欲しい。車は構内の駐車場に停めることができる。

Q5 福祉コミュニティ学科の実習はどのようになっているのか。

A5 社会福祉士課程では、3年生の夏休み中に180時間(24日程度)の実習がある。それに加えて介護福祉士課程を履修する場合は、1年生から4年生まで実習があり、精神保健福祉士課程を履修する場合は、4年生になって実習がある。実習をとおして学び、成長をしている。

Q6 実習は、大学へは登校せず直行直帰なのか。

A6 大学へは登校せずに直接実習施設へ行く。実習中、1週間に1度は大学に来校するか、教員が実習先を訪問するかで、教員からの指導や助言を受けている。実習先は、本人の希望を踏まえ、大学で調整している。実習日誌を毎日書き、最終的に報告書にまとめることで、学び、成長する。実習について、家庭で悩みがあり負担が大きいと感じる場合は、大学に相談して欲しい。

Q7 学費の納入のお知らせが学生に届くが、どのような形で送られるのか教えて欲しい。また、保護者に送ってもらうことは出来ないか検討をお願いしたい。

A7 学生の居所へ、単独の封筒で郵送している。学則で、学費は学生が納付することになっている。システムの関係でも、保護者に連絡するのは難しいが、今後引き落としなどの方策も検討する。

Q8 生協の学生総合共済の更新通知が来たが、これは更新したほうがよいのか。

A8 生協に確認したところ、賠償責任は生協に加入している学生全員が加入している。その他の保険については、任意とのことだが、来年度は補償が大きくなるとのこと。詳細は生協に確認をお願いしたい。

#### 意見・要望

(1)オペレッタを見たが素晴らしかった。(意見多数)

(2)オペレッタを元にした絵本を作ったらどうか。

(3)忙しい学生生活を送っていて、話も出来ないような状況なので、この情報交換会で、大学での状況を知り、たくさんのお話を聞くことが出来た。